

# 第26回 日本太鼓 全国障害者大会

～心に響け「ドンドン」フェスティバル～

2024年 **10月6日**(日)

DMG MORI

やまと郡山城ホール



主催：  **日本太鼓財団**  
NIPPON TAIKO FOUNDATION

共催：社会福祉法人 **富岳会**

主管：日本太鼓財団奈良県支部

協賛： Supported by  **日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION**

後援：厚生労働省、文化庁、奈良県、奈良県教育委員会、大和郡山市、大和郡山市教育委員会、

社会福祉法人全国社会福祉協議会、社会福祉法人奈良県社会福祉協議会、社会福祉法人大和郡山市社会福祉協議会

※会場での撮影・録画は一切ご遠慮願います。



---

# ご挨拶

公益財団法人 日本太鼓財団  
会長 長谷川 義



本日は、第26回日本太鼓全国障害者大会にご来場賜り、誠にありがとうございます。

公益財団法人日本太鼓財団では、現在43都道府県に47支部を設立し、加盟団体数約650団体、会員総数約17,000人を数えております。日本の太鼓は、老若男女、また障害の有無や国籍を問わず、ますます多くの方に愛好されております。

全身を使ってリズムを刻む日本太鼓の演奏は、障害のある方の療育に効用があることが立証されており、社会福祉法人富岳会においては、40年以上前から補助セラピーや自己表現の手段として太鼓を取り入れられております。本大会は1998年に、富岳会主催により「第1回全国障害者太鼓演奏会」が開催された折、「是非とも数多くの障害者団体にも出演機会を」との声をいただき、その後当財団主催、富岳会共催として実施しております。このような中、第26回日本太鼓全国障害者大会が開催できますことは誠に喜ばしいことでもあります。出場される団体の皆さまには日頃の練習の成果を十分に発揮され、さらに日本太鼓を通じて全国の仲間との交流を図り、友好を深め、いつまでも胸に残る大会となりますことを期待いたします。

最後に、当財団の活動に多大なご支援をいただいております日本財団及びボートレース関係者、また本大会にご支援ご協力をいただきました厚生労働省、文化庁、奈良県、奈良県教育委員会、大和郡山市、大和郡山市教育委員会、社会福祉法人全国社会福祉協議会、社会福祉法人奈良県社会福祉協議会、社会福祉法人大和郡山市社会福祉協議会をはじめとする関係各位、共催の社会福祉法人富岳会、そして主管団体の日本太鼓財団奈良県支部の皆さまに心からお礼を申し上げます。



---

# ご祝辞

奈良県知事  
山下 真



この度、第26回日本太鼓全国障害者大会が、ここ奈良県で初めて開催されますことをお慶び申し上げますとともに、全国各地からお越しいただいた皆様方を心から歓迎いたします。

日本太鼓は、古来より継承されてきた我が国の重要な伝統芸能であると共に、障害の有無や年齢、性別に関わらず、その響きやリズムを楽しむことができることから、近年、音楽療育の一環としても注目を集めています。本大会には出場しておられませんが、県内においても障害のある方の太鼓チームがご活躍され、その活動は今後さらに広がっていくものと期待されます。

奈良県では、2017年に全国で初めて「全国障害者芸術・文化祭」と「国民文化祭」を一体化した「国文祭・障文祭なら2017」を開催するなど、障害のある人もない人も、誰もが参加し楽しむことの出来る芸術文化活動の発展に力を入れてまいりました。その理念は「奈良県みんなでのしむ大芸術祭」に引き継がれ、芸術文化活動を通して、障害のある人もない人も互いを尊重し合い、ともに幸せに暮らすことが出来る社会の実現に努めています。今年度も、9月から11月まで「奈良県みんなでのしむ大芸術祭」を県内各所で開催していますので、ご来場の皆様も、是非これらのイベントにご参加いただき、奈良の文化遺産や自然をお楽しみいただければ幸いです。

また本県では、昨年「奈良県障害者芸術文化活動支援センター」を設置し、地域における障害者の芸術文化活動を支援する取組を進めています。具体的には、芸術文化活動に関する相談支援、参加機会創出のための障害者作品展やワークショップの開催、障害者芸術文化活動に関する情報の収集と発信、芸術文化活動を推進する人材育成を目的とした研修の開催などを行っています。こうした障害者芸術文化活動の推進を通して、障害者の社会参加、並びに障害のある人とない人の交流による相互理解を目指してまいります。

結びに、本大会の開催にご尽力をいただきました関係者の皆様方に深く感謝を申し上げますとともに、本大会の成功と、皆様方のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。





大和郡山市長  
上田 清



ようこそ！『平和のシンボル、金魚が泳ぐ城下町。』大和郡山市へ！

本日はここDMG MORIやまと郡山城ホールにおいて第26回日本太鼓全国障害者大会が、知的・聴覚・視覚・重複障害などの障害者団体参加のもと盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げますとともに、大変、光栄に存じます。

当会場では3年前の2021（令和3）年に開催が予定されていましたが、コロナ禍のもとあいにく中止になったと記憶しています。

それ以来の開催となりました。

日本太鼓の響きとリズムがバリアフリーとなり、人間の秘めたる可能性と生きることの素晴らしさ、勇気と感動を分かちあうことを目的とする本大会が、その目的に沿った有意義な、そして心温まる催しとなることを念じてやみません。

大和郡山市は、わが国最初の歴史書『古事記』を語り伝えた稗田阿礼のふるさとであり、語り部の里として、さまざまな事業に取り組んでいますが、古くから神事や祭礼において、あるいは貴重な情報を伝達する手段としての日本太鼓は『古事記』の時代にも大きな役割を果たしたのではないのでしょうか。

「日本の優良ホール100選」に選出いただいているこの会場で、幅広い交流や出会いの輪が広がることを心からお祈りし、お祝いのメッセージといたします。

---

# ご挨拶

社会福祉法人 富岳会  
理事長 山内 剛



本日、ここ大和郡山市において第26回日本太鼓全国障害者大会が開催されますこと心より御礼申し上げます。また主催であります公益財団法人日本太鼓財団並びに協賛をいただきます公益財団法人日本財団、そして奈良県並びに大和郡山市の関係団体の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

本来は23回大会をこの大和郡山市で開催する予定でしたが、予期せぬコロナウイルス感染拡大のため中止を余儀なくされることとなりました。しかし日本太鼓財団奈良県支部の皆様の熱い思いは、コロナに屈することなく、こうして第26回大会として開催される運びとなりました。奈良県支部の皆様のご努力に敬意を表しますとともに、共催団体として心より御礼申し上げます。

第1回大会は静岡市での開催でありました。しかしその前年に社会福祉法人富岳会が拠点を置く御殿場市民会館で開催していることを知る人はあまりおりません。当時はバックアップしていただける団体もなく、富岳会の職員が御殿場市内の企業や商店をまわり協賛金を募り、集まった僅かな資金と、私たちの趣旨にご賛同いただける10団体にも満たない太鼓チームの参加での開催でした。

その大会を視察に来られた当時の日本太鼓財団理事長、塩見和子氏の「この素晴らしい大会の火を絶やしてはいけない」との一声によって、日本太鼓財団の事業として正式に取り上げられ現在に至っているのです。生みの親が富岳会ならば育ての親は日本太鼓財団と言えるのがこの大会です。そしてこの大会をきっかけに障害のある人たちの太鼓活動が広がり、多くの団体に「日本太鼓全国障害者大会の舞台に立ちたい」という目標を与える事業にまで成長しました

障害は一つの個性です。彼らは一人ひとり無限の可能性を秘めています。只今から舞台上で繰り広げられます太鼓の演奏は、障害という壁を超越した魂の響きです。無心に太鼓を打ち込む姿は、観る人、聴く人に計り知れない可能性を伝え、勇気と生きるパワーを与えてくれるでしょう。そして本日この会場にお越しくださいました皆様が、この感動を一人でも多くの人に伝えて頂けることを祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。

本日はご来場誠にありがとうございました。

---

# ご挨拶

日本太鼓財団奈良県支部  
支部長 丸山 拓也



第26回日本太鼓全国障害者大会を大和郡山市で開催する運びとなり、日本太鼓財団奈良県支部を代表してご挨拶申し上げます。

本大会は障害を持つ方々が主役となり、和太鼓の持つ力強さと、みんなで気持ちを一つに合わせた演奏を通じて、自身の才能やチームの成果を発揮する場です。2017年にここ大和郡山市で開催されました「国民文化祭なら2017『太鼓の祭典』」をきっかけに招致を進めて参り、コロナ禍を経て7年越しに本日を迎える事ができました。

和太鼓は、日本の伝統文化の象徴であり、その力強い響きは、時代や世代を超えて私たちの心に響きます。特に今回は障害を持つ方々がその個性や能力を最大限に活かし、和太鼓という共通の言語で、観客の皆様と心を通わせます。その姿は、私たち一人ひとりにとって、共生社会の実現に向けた大切な一歩となるでしょう。出演者の皆様が抱く情熱と努力が、多くの方々に感動をもたらすことを願っております。

また、本大会が持つ意義は、単に和太鼓を楽しむだけにとどまりません。障害を持つ方々が、自らの限界を超え、新たな可能性を追求する姿を通じて、私たち社会全体が多様性を尊重し、共に生きる喜びを感じる機会となることを願っています。和太鼓の響きが、地域社会における絆を深め、共生の輪を広げる契機となるよう、私たちはこの大会を通じてそのメッセージを発信してまいります。

最後になりますが、開催にあたり、協賛を頂いています日本財団はじめ多くの関係者の皆様のご協力とご支援を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。出演者はもちろんのこと、舞台裏で支えてくださるスタッフやボランティアの方々、全面的にご協力いただいています富岳会様、そして地元大和郡山市の皆様、そしてご来場の皆様様に、心からの感謝の意を表します。どうぞ、出場者の皆様の情熱と努力に大きな拍手とご声援を送っていただければ幸いです。



# 第26回日本太鼓全国障害者大会プログラム

## 心に響け「ドンドン」フェスティバル

### ■ 開会式

### ■ 演 奏

1. 富岳太鼓 竜神組 (静岡県)・・・ 8  
Fugaku Taiko “Ryujin-kumi” from Shizuoka
2. 和太鼓 燈舞 (大阪府)・・・ 9  
Donmai from Osaka
3. 南陽園太鼓倶楽部 ふれあい和太鼓 (石川県)・・・ 10  
Nanyoen Taiko Club “Fureai Wadaiko” from Ishikawa
4. 播州ろう龍姫太鼓集団 鼓鼓呂 (兵庫県)・・・ 11  
Banshu Ryuhime Deaf Taiko Group “Kokoro” from Hyogo
5. 甲斐乃和太鼓 心響会 (山梨県)・・・ 12  
Kai-no-Wadaiko “Shinkyo-kai” from Yamanashi
6. 石川県立明和特別支援学校 龍剣太鼓 OB 会 (石川県)・・・ 13  
Meiwa Special Support School “Ryuken Taiko” Graduates from Ishikawa
7. 金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム (静岡県)・・・ 14  
Kanaya Oigawa Kawagoshi Taiko Challenge Team from Shizuoka
8. DRUM 輪 (和歌山県)・・・ 15  
DRUM Rin from Wakayama
9. 鼓友 夢光組 (富山県)・・・ 16  
Koyu “Nozomi-kumi” from Toyama
10. 社会福祉法人 同朋福祉会 同朋太鼓 (山口県)・・・ 17  
Doho Taiko from Yamaguchi
11. 中華民國身心障礙者休閒運動推廣協會 輪轉太鼓團 (台 湾)・・・ 18  
Chinese Taipei Recreational Sports Association for the Disabled “Rinten Taiko” from Taiwan
12. 和太鼓 岩淵組 (東京都)・・・ 19  
Iwabuchi-kumi from Tokyo

.....

13. 神戸なかよし太鼓 Kobe Nakayoshi Taiko from Hyogo	(兵庫県)・・・ 20
14. 豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」 Toyonaka Deaf Taiko Club “Kobiki” from Osaka	(大阪府)・・・ 21
15. 縄樂座 Jorakuza from Chiba	(千葉県)・・・ 22
16. ラーフ太鼓 楽鼓舞 Laugh Taiko Rakkomai from Hyogo	(兵庫県)・・・ 23
17. 伊豆医療福祉センターどんつく・やわら太鼓 Izu Medical Welfare Center “Dontsuku” and “Yawara Taiko” from Shizuoka	(静岡県)・・・ 24
18. きのかわ支援学校高等部和太鼓部 Kinokawa Special School Taiko Club from Wakayama	(和歌山県)・・・ 25
19. 徳島県立国府支援学校和太鼓部 Kokufu Special School Taiko Club from Tokushima	(徳島県)・・・ 26
20. ファミリーユニット童鼓 Family Unit “Dokko” from Gifu	(岐阜県)・・・ 27
21. 金谷大井川川越し太鼓浜松チャレンジチーム Kanaya Oigawa Kawagoshi Taiko Hamamatsu Challenge Team from Shizuoka	(静岡県)・・・ 28
22. 特定非営利活動法人 Root’s 和歌山 Specified non-profit corporation “Root’s Wakayama” from Wakayama	(和歌山県)・・・ 29
23. 恵那のまつり太鼓 Ena-no-matsuri Taiko from Gifu	(岐阜県)・・・ 30

ご来場のお客様へ

- 演奏中の客席への出入りは、お静かにお願いします。
- 客席は、照明が暗くなっておりますので、移動の際はお気を付けてください。
- 咳エチケットにはご協力ください。
- 会場内での大声での会話はお控えください。
- 客席での写真撮影や動画撮影はできません。
- 客席でのご飲食はできません。
- 携帯電話は、マナーモード設定にするなどのご配慮をお願いします。
- 貴重品等は、ご自身での管理をお願いします。

1

ふ がく だい こ りゅう じん ぐみ  
**富岳太鼓 竜神組**

静岡県

演奏曲：富士の雷舞



1977年に知的に障害のある方々のセラピーとして和太鼓に着目したことから始まりました。その活動内容は、障害者のリハビリテーションや社会自立トレーニングとしてはもちろんのこと、障害者の文化・芸術活動にまで広がりを見せ、広く海外からも注目されています。

演奏曲「富士の雷舞」は、春先から夏にかけて起こる想像を絶するような富士山の雷のすごさをモチーフにしています。豪雨とともに落雷は突然襲い掛かり、巨木を裂き、雷鳴は遠くの四方の山々を轟かせ大地を揺るがします。縦と斜めに配置した三つの太鼓を駆使して雷様が雲の上で荒れ狂う姿を表現します。

大太鼓の迫力あるパートや一生懸命太鼓に向かう姿勢にご注目ください。

代表者：山内 剛

久保田真喜／三橋 磨美／竜田奈津美／高森 春香／勝俣 宏祐／小林 依愛  
 江口 拓巳



## 2

わ だ い こ      ど ん ま い  
和太鼓   燈舞

大阪府

演奏曲：イグアス



障害者福祉サービス施設で行われている療育プログラムより誕生した和太鼓チームです。どんな時でも大きく成長するチャンスと捉え、「どんまい！」を合言葉にしています。様々な可能性を抱き、夢を持つ強さを育む事を目標に、周りの方々のたくさんの応援を受けながら活動に励んでいます。

今回の曲は、イグアスの滝を見に行き、近づくにつれて感じる激しく落ちる水のひび割れそうな音をイメージしています。「イグアス」には、大いなる水という意味があります。遠くから滝を眺めているシーンから始まり、曲が進むにつれて、大地の揺れや水の落ちる轟音を迫力のある和太鼓で表現していきます。

代表者：大戸 庸子

大戸 竣平／高森 一冨／光田 湧己

3

なんようえんたい こくらぶ

南陽園太鼓倶楽部

わだいこ

ふれあい和太鼓

石川県

演奏曲：どんどんわっしょい



ふれあい和太鼓は2000年9月に「明るく・楽しく・元気よく」をモットーに発足されました。メンバーは日中それぞれ仕事をしており、自宅から通っている方、グループホームで生活している方など状況は様々ですが、太鼓の前では目標は1つです。太鼓を通じて、礼節・修練・奉仕の精神を学び、自分自身を向上させることを目標に、日々練習に励んでいます。

今回の曲は、利用者の方々が太鼓を通じて、心身のリハビリを行い、日々明るく笑顔を絶やさずに過ごし、健康に努められるようにとの思いが込められた曲です。

法螺貝の音から始まり、みんなで掛け声を出し合いながら演奏します。大太鼓、長胴太鼓、締太鼓それぞれのソロパートがあり、最後は全員で元気よく演奏をします。

代表者：橋爪亜希子

大谷 和／橋本 正江／魚 琳太郎／石高 泰明／東 亮太／池越健太郎

濱崎友裕樹／本間 宏幸／山下 珠布／竹内 陽祐／高井 剛太／林 幸司

上口 勇人／塚谷 寛子／平山 由美／中村 至亨／野口 俊英

他出場者1名



4

ばんしゅう りゅうひめたい こしゅうだん こころ 兵庫県  
**播州ろう 龍姫太鼓集団 鼓鼓呂**

演奏曲：一擲太鼓 いってきたいこ



本チームは姫路城の麓を中心に活動をしています。1997年に「龍姫太鼓」として結成し、2003年に「鼓鼓呂」と改名しました。この名前は、太鼓と太鼓、そしてお互いの口の動きを見ながら体と心を通じ合わせるという意味が込められたものです。バチの速さを目で確かめたり、太鼓の振動を体で感じたりしながら全員で音を1つにまとめています。「明るく、元気よく、笑いと感動を！」をモットーに活動しています。

今回は「一擲太鼓」の先生から教授された、チームのデビュー曲を演奏します。始めは太鼓を力強く打ち、流れに乗って少しずつスピードが上がっていきます。構えや、最後の波打ちのスピードにご注目ください。

代表者：金澤 利至

金澤 静／松田 有紀／官崎 優美



5

か い の わ だ い こ しん きょう かい  
甲斐乃和太鼓 心響会

山梨県

演奏曲：勇駒  
いさみごま

2015年6月に結成し、今年で9年目を迎えます。名前のように心に響く太鼓が打てるチーム、そして和太鼓のノーマライゼーションを目指して、障害者と健常者が共に楽しみながらチームワークを大切に練習に励んでいます。

演奏曲「勇駒」は、平安時代に京の都の公家たちが競って全国に持った荘園の牧で多くの馬が育てられ、やがて京へ送り出されるときに、大事に育てた馬の活躍と健康を願いながら、笛や太鼓を打ち鳴らし、別れを惜しんだ様子を表しています。

生まれたばかりの仔馬が成長するにつれて逞しく元気に牧場を所狭しと駆け回る様子をスローテンポからアップテンポに変化させて表現しています。

代表者：小野 智弘

杉山 悠美／齊藤 里恵／齊藤三輝成／狐塚 亮／山路 隆公／神田 弘樹  
遠藤 大成

## 6

いしかわけんりつめい わ とくべつ し えんがっこう りゅうけんたい こ

## 石川県立明和特別支援学校 龍剣太鼓OB会

かい 石川県

演奏曲：虫送り太鼓  
むしおく たいこ

2009年4月石川県立明和養護学校高等部に和太鼓部が設立されました。2010年4月石川県立明和養護学校（知的障害）と石川県立養護学校（肢体不自由）が統合され、明和特別支援学校が開校し、和太鼓部「龍剣太鼓」の活動が開始しました。2012年3月に卒業後も和太鼓を続けたいという思いで、2011年度卒業生が中心となり、「龍剣太鼓OB会」が設立され、以後和太鼓部の外部講師である安江信寿氏指導の下、活動を続けています。

「虫送り太鼓」は、地元には伝わる曲です。曲の前半は締太鼓から始まり、大太鼓、長胴太鼓と繋がり、最後は全員で揃い打ちをします。後半の演奏で長胴太鼓チームが行うつばめ返し打法（揃い打ち）にご注目ください。

代表者：安江 信寿

若林 美香／林 芳樹／小室 駿／米田 優一／谷中 天紀／小熊早紀子



7

かな や おお い がわかわ ご だい こ

## 金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム

静岡県

演奏曲：つぼみ



和田光則代表の知り合いの子供が障害を持っており、太鼓を教えたことがきっかけで1998年に設立されました。5名程からスタートし、現在は13名程のメンバーと5名のスタッフで活動をしています。

本日の演奏曲「つぼみ」は、メンバーの子供たちが一生懸命に太鼓を叩いている姿をみて作曲未経験であった小玉恵美子氏が作りました。今まで子供たちと一緒に太鼓をやってくることができた過程をモチーフにしています。芽が出て、少しずつ膨らむつぼみを表現しており、どんな花になるかを思い浮かべながら演奏しています。最初に1人ずつ順番で個性のあるトレモロを打ち、次に締太鼓の小さな音色から始まり、だんだん大きな音になります。成長する姿を重ねた曲調としてお聞きください。

代表者：和田 光則

池久保 葵／岡崎真知子／斎藤 悠希／酒井 勝則／酒井 光枝／山内 大佑  
 増田 和馬／岩堀 巧誠／岩堀 純子／園田 康貴／森本 絵里／小玉恵美子  
 塚田 利恵／武田ひろみ／原田慎太郎

8

どらむ りん  
DRUM輪

和歌山県

びゅういちだ  
演奏曲：美勇壺打



きのかわ支援学校卒業生たちの「卒業しても仲間と一緒に和太鼓を続けたい」という願いが実現し、2019年から活動を開始しました。

演奏曲はタイトルに「壺」の字が入っており、式、参と発展させていきたいとの思いが込められています。そして、チームの新しい魅力が引き出せるように、今回は小さい音やゆったりとした演奏に挑戦しています。

この曲は、少しずつ人数が増えていく連打から始まり強い響きと弱い響きを全員で合わせる展開になっています。中盤では半数ずつのパートで演奏する部分もあり、お互いの音をしっかりと聴いて響きを作り上げています。

声を出してリズムを合わせたり、バチや身体の使い方を揃える事で増していく曲の躍動感を感じてください。

代表者：田原 綾子

石井 勝式／中尾 達也／東川 凌土／山畑 項平／高水 陽向／保井 瑞生  
鎌村 七海／武田 多佑／山崎 一樹



9

こゆうのぞみぐみ  
鼓友 夢光組

富山県

演奏曲：ごさいひびき  
五彩の響

富山県立となみ総合支援学校和太鼓クラブの卒業生とその父母をメンバーとして2003年に結成されました。新型コロナウイルスの影響で、3年間の活動休止となっておりますが、ようやく昨年からは太鼓を打つことができるようになりました。環境やメンバーの変化はありましたが、少しずつ練習を重ね、今回の全国大会が久しぶりの舞台になります。

今回の演奏曲「五彩の響」はチームのオリジナル曲です。前後の太鼓による掛け合いから始まり、大太鼓の力強い響き、そして疾走感のあるリズムから一転してお囃子調になるというにぎやかな曲です。

最初の大太鼓のソロ演奏やお囃子調の時の楽しそうな様子をぜひご覧ください。

代表者：俵 順子

白江 俊介／白江 良子／秋本 達也／秋本 秋美／大藏 柊真／大藏 舞子  
 奥野 康博／奥野千栄子／河原 雅康／河原史栄子／瀬川 智子／高橋 大康  
 高橋 輝子／法嶋 健太／法嶋三津子／増岡 涼／増岡 靖子／俵 千晴

10

しゃかいふくしほうじん どうほうふくしかい どうほうだいこ  
**社会福祉法人 同朋福祉会 同朋太鼓**

山口県

演奏曲：心機一転 しんきいつてん



同朋福祉会では、療育支援の音楽療法の一環として、2004年4月、施設保護者会や後援会の参加の下に和太鼓演奏を開始しました。

今回の曲は、「心を一つにして和太鼓演奏に取り組む」という気持ちを込めて、五十嵐久恵氏により作曲されました。継続して和太鼓演奏に取り組んでいる人や一時離れて復帰した人、和太鼓に始めて触れる人など関わり方はそれぞれです。そのような様々な背景を持つメンバーの気持ちを一つにできる楽曲です。

大太鼓と銅鑼の迫力ある演奏からスタートし、小刻みのリズムを取り入れ、軽快な演奏に変化していきます。長胴太鼓や大太鼓、締太鼓は勿論のこと、抱え桶や鉄筒のパートもぜひご注目ください。

代表者：河内 美舟

弘永 勝也／五十嵐久恵／加藤 正明／内山 一義／安尾 好史／先本 理恵  
 片岡 悟／島田 貴晃／栗光恵美子／松本 清美／吉居 菜生





輪轉太鼓團は身体障害者や車椅子使用されている方向けのリハビリを目的に2014年に設立されました。台湾太鼓協会の会員、泰山太鼓團の先生や鄭団長の指導を受け、現在は約20名のメンバーで活動しています。

今回の演奏曲である「翻轉人生」は、身体障害があっても前向きに素敵な人生を送るためのエールを込めた曲です。日本太鼓財団の長谷川会長より「希望」という楽譜を受け、曲の初めに入れました。太鼓を打つ音のアクセントや右手と左手の変化をつける事に挑戦します。今回は締太鼓、長胴太鼓、桶胴太鼓を使って演奏します。

上半身で太鼓を打つ表現や、曲の最後に登場する「輪轉太鼓團 翻轉人生」の掛け声にぜひご注目ください。

代表者：黃慶鑽

李倩玉／沈游琳／陳隆賢／黃明珠／黃明珠／施靜蕙／呂松飛／呂春香／楊淑凱  
呂吳雲嬰／張亮華／陳咬



12

わ だ い こ い わ ぶ ち ぐ み  
**和太鼓 岩淵組**

東京都

き こう  
演奏曲：輝光

「和太鼓で自分の思いを伝えたい」という気持ちから、ろう者太鼓団体の時から長年、指導していただいている方に背中を押していただいて、2019年に「岩淵組」が設立されました。翌年2020年2月に日本太鼓財団東京都支部20周年和太鼓フェスティバルでデビューし、以後、日本太鼓財団東京都支部等のイベント参加を通じて参加支部加盟団体との交流を深め、障害者関係および地域のイベント等で演奏活動を続けています。

今回演奏する曲「輝光」は太鼓を通じて、ひとりひとりの輝きが益々増していき、満ち溢れる光の中へという想いを込めたオリジナル曲です。

長胴太鼓3鼓、桶太鼓1鼓の編成で演奏されます。

代表者：岩淵 行雄

岩淵 恵美／川崎 文恵

13

こう べ だい こ  
神戸なかよし太鼓

兵庫県

演奏曲：みんなでワッショイ／絆きずな

1993年9月に知的障害者（児）を持つ親子の余暇活動としてスタートしました。1995年1月17日に阪神・淡路大震災があり、活動拠点である神戸市長田区も甚大な被害を受けましたが、復興イベントに数多く出演し、その後も地域行事に積極的に参加しています。「絆」「心ひとつ」を合言葉に活動を行い、昨年には30周年記念コンサートを開催しました。

1曲目の「みんなでワッショイ」は太鼓の基礎打ちをベースに、みんなで歌いながら盛り上げる曲として演奏します。2曲目の「絆」はチームのテーマ曲として作曲されました。それぞれが力いっぱい楽しく太鼓を打ち、みんなの心がひとつになるように演奏します。

大きな音や小さな音を使って、全員で音のうねりを作り出します。

代表者：岩田真佐子

大谷実千代／上條 博文／竹内 宏子／谷口 義明／徳山 恭／中野 智子  
中山 洸／針池 一男／森 弘祐／森 多輝／吉田 真理／三浦 清三  
藤田 命男／岸田 京子



14

とよ なか      わ だい こ      こ び き      大阪府  
**豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」**

演奏曲：K



1991年11月に豊中市身体障害者福祉会創立40周年記念大会のアトラクションとして和太鼓を打ったことがきっかけで、1992年5月に豊中ろう和太鼓クラブ「ひまわり」が発足しました。1995年3月に音のない世界にいる者にも、響きが音として体に伝わってくるという意味を込めて「ひまわり」から「鼓響」に改称されました。

本日演奏する曲は、大阪府豊中市で毎年開催している「豊中和太鼓まつり」に出演している「和太鼓衆団やぶからぼう」の曲で、数年前から同団体と合同演奏しています。

和太鼓の基本リズムをいろいろなパートで組み込まれている楽しい曲で、軽快な表と裏のリズムを男女に分かれて演奏します。皆さまもぜひ手拍子で参加してください。

代表者：宮田千恵子

坂本 善美／藤原 幹男／川口 聖／小川 龍一／高橋 朗子／酒井 要子



15

じょうらくざ  
縄樂座

千葉県

くろしお  
演奏曲：黒潮

2003年に千葉県香取市にて発足し、お正月の獅子舞門付け、施設慰問、子ども教室等、和太鼓・神楽・獅子舞を通して活動しているチームです。2008年より文化と福祉プロジェクトとして、難病・認知症・小児癌・障害児等をテーマにした活動にも力を注ぎ、2011年の東日本大震災で被災した地元や東北へも積極的に文化交流支援を行いました。

演奏曲「黒潮」は銚子の漁港をイメージして作曲されました。斜に構えて打つ演奏スタイルで、大漁を目指して漁をする様を表し、ゆっくりの曲調から次第にリズムに乗っていき、船の上で網を引き上げる様子を表現しています。

大会のために加えたアレンジや、被災地復興の祈りを込めて舞う獅子舞をぜひご覧ください。

代表者：松井 敏昭

星野 豊和／吉野 まゆ／吉野美智子／溝口 季／溝口 敦子／林 駿樹  
林 純子／青柳 泰介／曳地 君子／高木美知子／大屋 千鶴／佐藤 結衣  
曳地 修

## 16

たいこ らっこまい  
ラーフ太鼓 楽鼓舞

兵庫県

らくらく  
演奏曲：楽楽

姫路を中心に活動しているチームです。ラーフウッド作業所で働いている3人からスタートし、「播州ろう龍姫太鼓集団 鼓鼓呂」から太鼓を学びながら現在は5人のメンバーで活動しています。2016年11月に「舞いながら太鼓を楽しむ」という意味を込めて、鼓鼓呂の代表により「楽鼓舞」と名付けられました。明るく、いつも仲良しのメンバーが気持ちを1つにして演奏します。

本日演奏する曲は、楽しく舞っているイメージを元に、金澤利至代表がチームのために制作した曲です。ゆっくりのリズムで始まり、途中ソロパートもあり、最後は楽しく終わります。パートごとに異なる打ち方を合わせて演奏しているところや、1人ずつ楽しく太鼓を回る姿をお楽しみください。

代表者：金澤 利至

一宮 愛／石田 琢也／岡地健志郎／上野 智暁／山口 蛍



17

い ず いりょうふくし

伊豆医療福祉センター どんつく・やわら太鼓

だいこ

静岡県

演奏曲：青嵐  
せいらん

1990年に障害のある子どもたちの入所施設の夏祭りに、裾野市の五竜太鼓が慰問に訪れました。その演奏を見た入所児の「ほくも、たいこやりたい」のひと言から活動が始まりました。

今回演奏する曲「青嵐」は、村田淳樹氏の作調です。暑い夏の夜、稲光とともに雲が集まり、ポツリポツリと降り始める雨。雷の音とともに雨足も強くなり、雨が嵐になり、足早に去っていく。そのような様子を締太鼓と長胴太鼓の掛け合いなどで表現した曲です。スローな出だしから徐々にテンポが上がっていきます。

メンバーそれぞれが個性的に一つの輪の中で雨を嵐に、そして雨上がりの晴れやかな夜明けに移り変わっていく様子を表現しますので、ご覧ください。

代表者：渡邊 誠司

小林 悠太／谷口 蓮／小池健太郎／真寫 花鈴／大倉 瑠斗

他出場者4名



18

し えん がっ こう こう とう ぶ わ だ い こ ぶ 和歌山県  
**きのかわ支援学校高等部和太鼓部**

演奏曲：結ゆう



1996年、和太鼓同好会として設立されました。隣町の農芸高校の和太鼓部員と交流しながら練習し、近隣のイベントに参加したり、毎年演奏会を開催したりして経験を積み、2024年11月には高等学校総合文化祭近畿大会に出場されます。

本チームは、その時の部員の技術や想いに合わせて毎回オリジナル曲を作っています。今回の曲では、3パートに分かれる編成に初挑戦します。組太鼓、締め太鼓、長胴太鼓の3パートに分かれ、それぞれのフレーズを演奏します。各パートがバランス良く響きあうよう、パート練習とアンサンブル練習の時間を取りながら作り上げてきました。

新しいリズムに挑戦し、一生懸命練習してきた成果を発揮します。

代表者：田原 綾子

山田 和葉／武田 光志／山本 愛弓／中迫 法華／平賀 正樹／赤阪 大樹  
 室 秀哉／他出場者1名

19

とくしまけんりつこくふしえんがっこうわだいこぶ  
**徳島県立国府支援学校和太鼓部**

徳島県

演奏曲：御忍・阿波流光のぞめき  
ごにん あわりゆうこう



国府支援学校和太鼓部は1998年に結成以来、昨年で創部26年目を迎えました。高等部に入学してから和太鼓に初めて触れる方がほとんどですが、障がいを乗り越え、人に喜ばれる演奏を目指して日々の練習を重ねています。

本日演奏する曲の「阿波流光のぞめき」は兵庫県にある和太鼓教育研究所の吉田拓也氏に作曲を依頼したオリジナル曲です。そちらに文理大学和太鼓部「億」と交流して教えてもらった「御忍」の冒頭をアレンジして今日は演奏します。吉野川の激しく厳しい流れ。船を転覆させるほどの渦潮の流れ。先祖たちの文化に対する誇り。そして阿波徳島に受け継がれる阿波踊りの流れ。これらの自然・文化・人の流れを組み太鼓の中に織り混ぜ表現をしています。

代表者：世戸 直樹

齋藤 佑心／岩本 大／小橋 力斗／溝口 晃琉／枝澤 優貴／松下 侑斗  
 片山 聖虎／天羽 亮汰／今川 璃久／小西 敦也／渡辺 愛音／天羽 圭汰  
 前山緋華瑠



20

ファミリーユニット <sup>どっ</sup> <sup>こ</sup> 童鼓

岐阜県

演奏曲：<sup>てん</sup> TEN

1994年10月、高知県光の村養護学校の黒潮太鼓の演奏を見て、今までに経験したことのない驚きと感動を経験し、「子どもたちにも太鼓を打たせてやりたい」という思いを抱いたことから、2年後の1996年9月に結成されました。

本日の演奏曲は、チームを結成して10年が過ぎたころに基礎打ち部分を元にチームで作曲されました。結成10年という節目にちなんで「TEN」と命名し、結成20年目までに、曲を優雅にそして楽しんで打てるようにと、少しずつ曲を進化させています。チームの成長に重ね合わせるかのように曲の終盤は躍動していきます。

3パートを順番に打つハーモニーの展開がありますので、ぜひお聞きください。

代表者：児島 和夫

奥村 千鶴／奥村 杏里／高橋 貴子／高橋 秀徳／児島 秀美／児島 康寛  
 川口 清美／川口 舞／中島 幸子／中島 寛文／渡邊 朋子／渡邊 史浩  
 内木 裕美／内木さゆり／高木 彩花



21

かな や おお い が わ か わ ご だい こ は ま ま つ

## 金谷大井川川越し太鼓浜松チャレンジチーム

静岡県

演奏曲：木の葉



静岡県島田市が無形民俗文化財に指定する「金谷大井川川越し太鼓保存会」が指導する知的障害者のチーム「金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム」に浜松市から参加しているメンバーがいました。浜松でも太鼓を叩きたいという多くの声が挙がり、同保存会の和田光則代表のご指導を得て、2009年5月に設立されました。

今回演奏する曲「木の葉」は、風に吹かれた葉っぱが大きく揺れたり、小さく動いたりする面白い様相をモチーフに作られました。力強く太鼓を打ち込んだり、時には楽しそうにユラユラとリズムカルに展開する曲です。

皆が楽しそうに元気よく、そして力強く叩いている姿をご覧ください。

代表者：斎藤 寿見

斎藤 悠希／斎藤 香織／佐藤 佑紀／佐藤千佳代／三原 京子／三原まゆみ  
松浦 光／松浦真由美

22

とくてい ひ えい り かつ どう ほう じん る ー つ わ か や ま 和歌山県  
特定非営利活動法人 Root's 和歌山

演奏曲：ドンチャカ



2001年7月に設立。2023年6月に地元で和太鼓教室を開催した事が始まりで、だんだんとメンバーが固定されていき、今年6月に開催されたイベント出演をきっかけに「Root's和歌山」としての和太鼓演奏を開始しました。

今回の演奏曲は、長胴太鼓と締太鼓の掛け合いの「ドンチャカ、ドンチャカ」という所から名付けられています。元気いっぱい楽しく叩く！をテーマに作られた曲です。締太鼓の演奏から始まり「ドンチャカ、ドンチャカ」のリズムに乗って流れて行きます。それぞれのパート演奏が最後は一つになり、色々な人が心を合わせて力強く団結していくイメージの曲です。

元気いっぱいに飛び跳ねながら演奏します。

代表者：ブラウン 恵津子

ブラウン ダニエル／ブラウン アンディ／ブラウン ジェシカ／安田 雪江

安田 美兎／宮川 眞吾／宮川 慶子／溝部帆大嘉／溝部日大地／鵜本 良樹

鵜本 典子／鵜本 夏芽



23

え な だい こ  
**恵那のまつり太鼓**

岐阜県

演奏曲：鼓楽つづら

1989年に3名の職員が静岡県にある富岳太鼓で太鼓を学んだところからはじまり、1990年結成、今年で34年目を迎えます。現在は障がい者支援施設のスタッフ・利用者の21名で活動しています。

毎週1回仕事終わりに集まって太鼓を楽しんでいます。限られた時間のなかでの練習は大変ですが、「一生懸命打つこと」、「楽しんで打つこと」、「地域への恩返し」を心がけ、やりがいを持って頑張っています。

演奏する曲は岐阜県太鼓連盟会長の和田正人氏作曲「鼓楽」で、打ち込みやすいようにアレンジしました。様々な太鼓で構成され、パートごとにソロがあることが特徴です。順番にメロディが移っていき、各パートが合わさりながら段々と力強くなっていくラストにご注目ください。

代表者：小坂 孫次

安藤 恵一／安藤 利夫／安藤 和子／伊佐地 工／井口 恵一／伊東 鉄也  
 伊藤 佳央／大黒 純也／後藤 健治／武川 勝則／田中 里美／春田 信也  
 古田 浩史／酒井 薫／八澤 正弘／外山 和紀／山内 成倫／西尾美乃里



# 日本太鼓全国障害者大会開催実績

## 第1回日本太鼓全国障害者大会

日時：1999年7月25日(日) 場所：静岡県コンベンション・アーツセンター・グランシップ(静岡県静岡市)  
出場団体：13団体 観客数：1,000名

## 第2回日本太鼓全国障害者大会

日時：2000年6月17日(土) 場所：御殿場市民会館(静岡県御殿場市)  
出場団体：14団体 観客数：1,000名

## 第3回日本太鼓全国障害者大会

日時：2002年1月20日(日) 場所：御殿場市民会館(静岡県御殿場市)  
出場団体：19団体 観客数：1,000名

## 第4回日本太鼓全国障害者大会

日時：2002年9月22日(日) 場所：恵那文化センター(岐阜県恵那市)  
出場団体：17団体 観客数：1,000名

## 第5回日本太鼓全国障害者大会

日時：2003年9月6日(土) 場所：青山劇場(東京都渋谷区)  
出場団体：18団体 観客数：1,200名

## 第6回日本太鼓全国障害者大会

日時：2004年10月3日(日) 場所：諏訪市文化センター(長野県諏訪市)  
出場団体：21団体 観客数：1,000名

## 第7回日本太鼓全国障害者大会

日時：2005年10月30日(日) 場所：ギャラリーかめおか(京都府亀岡市)  
出場団体：22団体 観客数：1,000名

## 第8回日本太鼓全国障害者大会

日時：2006年9月10日(日) 場所：郡山市民文化センター(福島県郡山市)  
出場団体：19団体 観客数：2,000名

## 第9回日本太鼓全国障害者大会

日時：2007年10月7日(日) 場所：御殿場市民会館(静岡県御殿場市)  
出場団体：25団体 観客数：1,300名

## 第10回日本太鼓全国障害者大会

日時：2008年10月5日(日) 場所：文京シビックセンター(東京都文京区)  
出場団体：26団体 観客数：1,000名

## 第11回日本太鼓全国障害者大会

日時：2009年10月18日(日) 場所：石川県こまつ芸術劇場うらら(石川県小松市)  
出場団体：24団体 観客数：800名

## 第12回日本太鼓全国障害者大会

日時：2010年10月17日(日) 場所：フィットネスハウス・アリーナ(千葉県成田市)  
出場団体：29団体 観客数：1,000名

---

**第13回日本太鼓全国障害者大会**

日時：2011年10月16日（日） 場所：郷の音ホール（兵庫県三田市）  
出場団体：28団体 観客数：1,000名

**第14回日本太鼓全国障害者大会**

日時：2012年10月21日（日） 場所：御殿場市民会館（静岡県御殿場市）  
出場団体：28団体 観客数：1,000名

**第15回日本太鼓全国障害者大会**

日時：2013年10月6日（日） 場所：文京シビックホール（東京都文京区）  
出場団体：35団体 観客数：1,100名

**第16回日本太鼓全国障害者大会**

日時：2014年10月5日（日） 場所：大東市立総合文化センター（大阪府大東市）  
出場団体：34団体 観客数：1,100名

**第17回日本太鼓全国障害者大会**

日時：2015年10月4日（日） 場所：石川県こまつ芸術劇場うらら（石川県小松市）  
出場団体：26団体 観客数：800名

**第18回日本太鼓全国障害者大会**

日時：2016年10月2日（日） 場所：大垣市民会館（岐阜県大垣市）  
出場団体：27団体 観客数：800名

**第19回日本太鼓全国障害者大会**

日時：2017年10月1日（日） 場所：御殿場市民会館（静岡県御殿場市）  
出場団体：27団体 観客数：1,000名

**第20回日本太鼓全国障害者大会**

日時：2018年10月7日（日） 場所：文京シビックホール（東京都文京区）  
出場団体：30団体 観客数：900名

**第21回日本太鼓全国障害者大会**

日時：2019年10月6日（日） 場所：倉敷市玉島文化センター（岡山県倉敷市）  
出場団体：29団体 観客数：800名

**第22回日本太鼓全国障害者大会** \*新型コロナウイルスの影響により中止

**第23回日本太鼓全国障害者大会** \*新型コロナウイルスの影響により中止

**第24回日本太鼓全国障害者大会**

日時：2022年10月23日（日） 場所：御殿場市民会館（静岡県御殿場市）  
出場団体：18団体 観客数：450名

**第25回日本太鼓全国障害者大会**

日時：2023年10月1日（日） 場所：文京シビックホール（東京都文京区）  
出場団体：21団体 観客数：400名

## 2024年度の主な事業活動予定

### ■日本太鼓ジャンボリー 2024（終了）

期 日：2024年6月9日（日）  
場 所：文京シビックホール大ホール（東京都文京区）  
主 催：公益財団法人 日本太鼓財団  
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部  
出演団体：12団体

### ■第9回大学太鼓フェスティバル（終了）

期 日：2024年8月28日（水）  
場 所：タワーホール船堀大ホール（東京都江戸川区）  
主 催：大学太鼓連盟  
協 賛：公益財団法人 日本太鼓財団  
出演団体：13団体

### ■第39回国民文化祭

#### 第24回全国障害者芸術・文化祭「清流の国ぎふ」文化祭2024「太鼓の祭典」

期 日：2024年10月20日（日）  
場 所：不二羽島文化センター大ホール（岐阜県羽島市）  
主 催：文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024 実行委員会、  
羽島市、羽島市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024 羽島市実行委員会、  
公益財団法人 日本太鼓財団  
主 管：日本太鼓財団岐阜県支部、岐阜県太鼓連盟  
出演団体：32団体

### ■第8回浅草太鼓祭

期 日：2024年11月3日（日・祝）  
場 所：隅田公園山谷堀広場（東京都台東区）  
主 催：浅草太鼓祭実行委員会、日本太鼓財団東京都支部  
特別協賛：公益財団法人 日本太鼓財団  
出演団体：20団体程度

### ■第21回日本太鼓シニアコンクール

期 日：2024年11月17日（日）  
場 所：石川県小松市團十郎芸術劇場うらら（石川県小松市）  
主 催：公益財団法人 日本太鼓財団、公益社団法人 石川県太鼓連盟、  
一般財団法人 石川県芸術文化協会、北國新聞社  
主 管：日本太鼓財団石川県支部  
出場団体：30組程度

### ■第27回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2025年3月23日（日）  
場 所：iichiko グランシアタ（大分県大分市）  
主 催：公益財団法人 日本太鼓財団  
主 管：全九州太鼓連合、日本太鼓財団大分県支部  
出場団体：50団体程度

### ■日本太鼓技術普及事業（日本太鼓講習会&資格認定事業）

第72回日本太鼓全国講習会 2025年2月22日（土）・23日（日） 鹿児島県



## 公益財団法人 日本太鼓財団概要

<設 立 日> 1997年11月11日

<公益財団移行日> 2012年4月1日

<資 産> 基本財産3億円

<加盟支部数> 47支部（43都道府県）

<加盟団体数> 約650団体

<会 員 総 数> 約17,000人

<役 員>

会 長	長谷川 義	全九州太鼓連合名誉最高顧問
副 会 長	古屋 邦夫	中日本太鼓連合会長
常務理事	佐々城 清	常 勤
理 事	相澤 佳余	(公財) ニッポンドットコム常務理事
理 事	太田 義高	日本太鼓財団北海道連合会会長
理 事	玉澤 正徳	(公財) 笹川スポーツ財団常務理事
理 事	山内 強嗣	(福) 富岳会理事長
理 事	湯澤 元一	関八州太鼓連合会長

<評 議 員>

評 議 員	浅野 昭利	(一財) 浅野太鼓文化研究所理事長
評 議 員	岩切 邦光	全九州太鼓連合会長
評 議 員	河合 睦夫	富山県太鼓協会名誉会長
評 議 員	小林 一郎	(株) イー・シー・エー代表取締役
評 議 員	佐藤 淳子	元 (一財) ライフ・プランニング・センター理事
評 議 員	高野 右吉	高野右吉と秩父社中代表
評 議 員	田中 泰秀	NPO法人東京都太鼓連合理事長
評 議 員	中西 由郎	元 (一財) 日本モーターボート競走会監事
評 議 員	西川恵美子	尾張新次郎太鼓保存会会長
評 議 員	吉倉 和宏	日本財団常務理事

<監 事>

監 事	伊藤 勝彦	弁護士 ITN法律事務所
監 事	金子 明	(公財) 笹川保健財団監事

(五十音順・敬称略)





**日本太鼓財団**  
NIPPON TAIKO FOUNDATION

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-11-2  
日本財団第二ビル 6 階  
Toranomom 1-11-2, Minato-ku, Tokyo 105-0001, Japan  
Tel (03) 6205-4377 Fax (03) 6205-4378  
URL : <https://www.nippon-taiko.or.jp>  
E-mail : [info@nippon-taiko.or.jp](mailto:info@nippon-taiko.or.jp)